



D.I. 質問箱

Q61

百日咳のワクチンについて、これまでの経緯を教えてください。

A61

1950（昭和 25）年から百日咳（P）全菌体ワクチン（主成分：前野、東浜株）が実施されました。1958（昭和 33）年からは、ジフテリア（D）と混合の DP 二種混合ワクチンが使用されました。1968（昭和 43）年からは、破傷風（T）を含めた三種混合ワクチンになっています。

三種混合ワクチンについては、1970 年代に重篤な副反応が発生したことが問題となり、1975 年 2 月に一時中止され、接種年齢を引き上げて同年 4 月に再開しています。

1981 年秋からは、全菌体ワクチンから無細胞百日咳ワクチン（主成分：百日咳毒素 PT、繊維状赤血球凝集素 FHA）となり、現在に至っています。

【検査項目】百日咳抗体…東浜株、山口株を報告します。

百日咳(EIA 法)…百日咳毒素 PT、繊維状赤血球凝集素 FHA を報告します。

お問合せ：学術データインフォメーション（D.I.）課まで

0120-14-8734（フリーダイヤル） / 082-247-4325（ダイヤルイン）



先生方の診療所にも様々な花木が植えられていたり、飾られていたりするのをよく目にしますが、私も引っ越しを機に、自然農法の家庭菜園を始めました。田舎から土を持ち帰り畑を作り、4月に野菜を植えました。小さな畑ですが、キュウリ、ナス、トマト、オクラ、ネギ、ニラ、アスパラ、エンドウ、ゴーヤ、ピーマン、レタス、チシャ、シソ、セロリ、ヘチマ、モロコシ、スイカ、メロン、イチゴ…、やたら植えてみました。

ちなみに、昨年プランターでキュウリを作った際、キュウリが丸くなるのでおかしいかと思っているとメロンになり、おいしくいただきました。どうやらプリンスメロンの苗が混ざっていたようです。今年はどうなるか収穫が楽しみです。

山崎 雅昭（検査科技師長）

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博 / 熊川 良則 / 高磨 潤

